

## お知らせ

## 令和 3 年度 若手研究助成

本学会では、体育学・スポーツ科学に関する科学的研究を促進し、東京体育学研究のさらなる促進および若手研究者の育成を主旨として、令和 3 年度より 35 歳以下の若手研究者を対象とした研究助成を再開致しました。本年度は数件の申請がなされ、厳正なる審査の結果、以下の方への採択が決定されました。

## 令和 3 年度若手研究助成 採択者

氏名	所属	テーマ
岡田悠佑	明治学院大学	日本におけるオリンピック・パラリンピック教育の普及過程に関する研究：教育委員会の視点に着目して
木内 聖	国土舘大学大学院スポーツ・システム研究科 博士課程	歩行中の足部アーチ変化および足底荷重分布パターンの定量化

## 【もくじ】

- ・若手研究助成 (1)
- ・第 98 回研究会開催報告 (2)
- ・令和 2 年度第 3 回常任理事・理事会議事録 (4)
- ・令和 2 年度総会議事録 (6)
- ・令和 2 年度事業報告 (7)
- ・令和 2 年度決算報告 (8)
- ・令和 3 年度事業計画 (9)
- ・令和 3 年度予算案 (10)
- ・令和 3・4 年度理事構成 (11)
- ・新入会員 (12)

## 報告 第 98 回研究会

東京体育学会が主催する第 98 回研究会を、令和 3 年 9 月 28 日にオンライン形式で開催した。「日本代表チームにおけるオリンピックに向けた医科学支援の取り組みと今後の課題～スポーツ科学研究の現場での活用について～」をテーマに設定し、セッション 1 では、飯塚太郎先生（日本バドミントン協会 ナショナルチームパフォーマンス分析スタッフ）、広瀬統一先生（早稲田大学スポーツ科学学術院）に、話題提供をいただいた後、セッション 2 では熊川大介先生（国士舘大学）にファシリテーターとしてご参加いただき、現場での医科学サポートについて様々なお話をうかがった。

本研究会は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が終了した直後の開催であり、非常に話題性のあるテーマであったことから、多くの会員や会員外の参加があった。

### 実施日時・開催方法

日 時：令和 3 年 9 月 28 日（火）16:30～18:00

方 法：オンライン（Zoom）形式

テーマ：日本代表チームにおけるオリンピックに向けた医科学支援の取り組みと今後の課題  
～スポーツ科学研究の現場での活用について～

参加者：70 名（内訳：会員 60 名、会員外 10 名）

### ● セッション 1 話題提供

#### 1) 「バドミントン日本代表における医科学支援の取り組み」

話題提供者：飯塚太郎先生（日本バドミントン協会 ナショナルチームパフォーマンス分析スタッフ）

飯塚太郎先生からは、バドミントン日本代表チームでのご自身の役割として、試合映像や形態・体力データの分析、情報提供だけでなく、医・科学サポートの計画立案やコーディネートも担っていることや、選手の主体性を促す試みとして、代表合宿での栄養ミニセミナーを開催していることなどについてご紹介戴いた。2010 年にバドミントンがハイパフォーマンス・サポート事業のターゲット競技に選定され、医科学



支援の質・量が大きく向上し、代表チームの成績も向上してきたことが示された。今後、技術力向上だけでなく、スポーツ科学各分野からのサポートがますます重要になっていると指摘された。

## 2) 「東京オリンピックに向けたサッカー女子日本代表での科学サポート」

話題提供者：広瀬統一先生（早稲田大学スポーツ科学学術院）

広瀬統一先生からは、なでしこジャパンのチーム構成と、コンディショニングスタッフとして、パフォーマンス向上や外傷・障害予防を担っていることが紹介された。医科学支援者に必要な能力（課題発見・解決能力）を内的（メディカル、スキル、フィジカル、メンタル）及び外的（環境、用具、トレーニング方法）視点から養うことの重要性、支援成功のために必要な事項（仮説と実証、専門性と多様性）、パスウェイ（運、実力、人脈、継続性）について具体的なデータや経験などを交えて示された。医科学支援者としては基礎学問の知識、専門的な知識が必要であり、また専門家間の連携も重要であることを指摘された。



## ● セッション 2 対談

「スポーツ科学研究の現場での活用」

ファシリテーター：熊川 大介 先生（国士舘大学・日本スケート連盟 スピードスケート科学部門）

講師：飯塚 太郎 先生（日本バドミントン協会 ナショナルチームパフォーマンス分析スタッフ）

講師：広瀬 統一 先生（早稲田大学スポーツ科学学術院）

サポートスタッフと現場指導者の関係性や環境の変化、サポートの成功・失敗事例、データのフィードバックの方法、東京オリンピックの開催延期の影響とそこでのサポートなどについて、質問に回答する形式でお話いただいた。データのフィードバックについては、データを渡して変化を伝えるだけでなく、変化をどう評価するかといった自分の視点やデータ活用のための追加情報などと合わせて伝えていることや、相手に合わせたタイミングや伝え方の工夫を行っていることが伺えた。また、今後人材をどう育成していくか(ライセンス化)、どう経験を積ませるか（インターンシップ等の実施）、育成した人材の活躍の場の確保（ニーズの拡大）といった、医科学サポートスタッフの人材育成の課題と展望についても話していただいた。



令和 2 年度 第 3 回常任理事・理事会議事録

日時：令和 2 年度 3 月 7 日（日）11 時 00 分～12 時 00 分

方法：オンライン形式（ZOOM）

出席者（敬称略）：角田直也、菊 幸一、熊川大介、萩裕美子  
田中重陽、船渡和男、宮地元彦、柏木 悠  
工藤和俊、水上博司、吉岡伸輔、作野誠一  
宮地元彦、稲葉優希、若山章信、石井直方  
野口智博、袴田智子、深代千之、岡出美則  
沢井史穂、太田あや子、阿江美恵子

<出席 22 名><欠席（委任状あり）：5 名><欠席（委任状なし）：8 名>合計 35 名

I. 報告事項

1. 令和 2 年度中間会計報告

（報・資料 1）に基づき、事務局平野幹事より、令和 2 年度中間会計について報告がなされた。

2. 新入会員、退会・転出者について

（報・資料 2）に基づき、事務局平野幹事より、令和 2 年 11 月 24 日から令和 3 年 2 月 25 日の間の新入会員及び退会・転出者について報告がなされた。

3. 東京体育学研究第 12 巻について

編集担当責任者の沢井理事より、東京体育学研究第 12 巻の編集状況について説明がなされた。

4. 第 12 回学会大会について

（報・資料 3）に基づき、田中理事長より東京体育学会第 12 回学会大会について説明がなされた。

5. 若手研究助成について

（報・資料 4）に基づき、田中理事長より若手研究助成について報告がなされた。角田理事より、規定に『間接経費を別途支払う』ことを定めておくことが提案され、要項に追加することが確認された。また、太田理事より、間接経費は所属機関や大学によって異なることから、確認の仕方や書式を検討する必要があることが指摘された。

6. その他

田中理事長より、日本スポーツ体育健康科学学術連合から依頼された、「体育・スポーツ界におけるジェンダー平等宣言」の公表について報告がなされた。令和 2 年度 2 月 22 日にメールにて「体育・スポーツ界におけるジェンダー平等宣言」への団体名の記載について常任理事及び理事に連絡し、各理事の検討を経た上で、「掲載可」として回答したこと、また同年度 3 月 6 日時点で「体育・スポーツ界におけるジェンダー平等宣言」に「東京体育学会」の記載を確認したことが報告された。

令和3年・4年度理事選挙について、柏木理事（選挙管理委員）から投票方法や令和2年度2月10日に開票作業を行った旨の報告がなされた。また、例年の投票は日本体育学会と一律で行われていたが、今年度からは、独自開催となったため、開票作業に伴う選挙管理委員の日程調整や作業が繁多であることなどが指摘され、選挙方法の変更について今後検討する必要がある旨の提案がなされた。

## II. 審議事項

### 1. 令和3年度事業計画案について

（審-資料1）に基づき、田中理事長より令和3年度事業計画案説明があり、審議の結果、承認された。

### 2. 令和3年度予算案について

（審-資料2）に基づき、田中理事長より令和3年度予算案について説明があり、角田理事より、東京体育学会20周年記念事業に向けて資金の積み立てをする提案がなされた。また、菊理事より、若手研究助成の資金や記念事業の積み立てのための基金設立の提案がなされ、審議の結果、承認された。さらに、予算案は単年度の収入額に相応しい支出額を設定することが望ましいとの提案を受け、修正することが承認された。

### 3. 令和2年度総会次第について

（審-資料3）に基づき、田中理事長より令和2年度総会次第について説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

### 4. その他

特になし。

（文責：東京体育学会事務局 松崎鈴、田中重陽）

令和2年度 総会議事録

日時：令和3年3月7日（日）17:15～17:45

開催形式：Zoomによるオンライン開催

出席者：80名

東京体育学会規則第5章第26条に基づき、議長は総会出席者の中から及川理事が選出された。

### 報告事項

(i) 平成29年度事業中間報告について

資料に基づき、平成29年度事業中間報告について柏木幹事（庶務担当）より報告があり、内容が確認された。

(ii) 平成29年度会計中間報告について

資料に基づき、平成29年度会計中間報告についてむら太田理事（庶務・会計担当）より報告があり、内容が確認された。

(iii) 令和3、4年度東京体育学会理事選挙について

資料に基づき、平成29年度事業中間報告について村岡理事（選挙管理委員会委員長）より報告がなされた。

(iv) 若手研究助成

田中理事長より、東京体育学会2021年度研究助成事業について資料に基づき説明がなされた。募集期間は4月1日～5月31日までとし、会員へアナウンスすることが報告された。

### 審議事項

(i) 令和3年度事業計画案について

資料に基づき、令和3年度事業報告について田中理事長より説明があり、審議の結果、承認された。

(ii) 令和3年度予算案について

資料に基づき、令和3年度会計決算について平野事務局幹事より説明があり、審議の結果、承認された。

(iii) その他

（文責：東京体育学会事務局 松崎 鈴， 田中重陽）

## 令和 2 年度事業報告

### 1. 東京体育学会第 12 回大会の開催

日時：令和 3 年 3 月 7 日（日）

開催形式：Zoom によるオンライン開催

テーマ：若手研究者に期待する今後のスポーツ科学研究

プログラム：開会式、基調講演、一般研究発表、閉会式

### 2. 研究会の開催

第 1 回研究会（第 97 回） 令和 2 年 12 月 5 日（土） 15:00～16:30

「大学スポーツの未来－UNIVAS を考える－」

### 3. 研究誌「東京体育学研究第 12 巻」の刊行

令和 3 年 3 月 30 日発行

研究論文：3 編、研究報告：1 編、

東京体育学会第 11 回学会大会誌上発表抄録：20 編

### 4. 会報「とうきょう」の発行

「とうきょう」（2020.No.1） 令和 2 年 12 月発行 [Web 上に掲載]

「とうきょう」（2020.No.2） 令和 3 年 3 月発行 [Web 上に掲載]

### 5. 諸会議の開催

総会（1 回） 令和 3 年 3 月 7 日（日） オンライン開催

理事会（3 回） 令和 2 年 7 月 31 日（金） オンライン開催

令和 2 年 12 月 5 日（土） オンライン開催

令和 3 年 3 月 7 日（日） オンライン開催

## 令和2年度決算報告

## 令和2年度会計決算報告

自 令和2年4月1日  
至 令和3年3月31日

## I 事業活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	収入額	差額	内訳/注記
会費収入			2,250,000	2,008,500	▲ 241,500	1,339名×@1,500
入会金収入			10,000	4,500	▲ 5,500	9名×@500
事業収入			0	7,000	7,000	学会誌@1,000、学会参加費 6名×@1,000
寄付金・補助金収入			396,000	360,000	▲ 36,000	地域協力学会助成金
収入合計			2,656,000	2,380,000	▲ 276,000	

## II 事業活動支出

大科目	中科目	小科目	予算額	支出額	差額	内訳/注記
事業費支出	学会大会費支出	臨時雇賃金支出	100,000	16,000	84,000	学生アルバイト
		会議費支出	200,000	53,340	146,660	Zoom契約料
		旅費交通費支出	50,000	2,000	48,000	
		通信運搬費支出	20,000	0	20,000	
		消耗品費支出	10,000	0	10,000	
		諸謝金支出	90,000	0	90,000	
		学会賞金支出	60,000	30,540	29,460	
	(小計)		530,000	101,880	428,120	
	研究会費支出	臨時雇賃金支出	10,000	0	10,000	
		会議費支出	10,000	36,008	△ 26,008	Zoom配信用教室借用料
		旅費交通費支出	20,000	0	20,000	
		通信運搬費支出	20,000	0	20,000	
		消耗品費支出	10,000	23,900	△ 13,900	Zoom用スピーカー
	(小計)		120,000	109,908	10,092	シンポジスト謝礼金
	学会誌刊行費支出	通信運搬費支出	150,000	124,244	25,756	郵送代
消耗品費支出		150,000	107,472	42,528	封筒、ラベル、他	
印刷製本費支出		450,000	493,925	△ 43,925		
(小計)		750,000	725,641	24,359		
記念事業積立金		0	0	0		
学術連合会費		30,000	30,000	0		
研究助成費支出	研究助成費支出	0	0	0		
(小計)		30,000	30,000	0		
管理費支出	常設委員会費支出	会議費支出	100,000	22,110	77,890	Zoom契約料
		旅費交通費支出	70,000	8,000	62,000	
		通信運搬費支出	10,000	0	10,000	
	(小計)		180,000	30,110	149,890	
	その他管理費支出	事務アルバイト料支出	360,000	360,000	0	
		幹事手当支出	120,000	120,000	0	
		旅費交通費支出	20,000	11,643	8,357	会計監査交通費
		通信運搬費支出	10,000	34,828	△ 24,828	総会資料郵送代(メール未登録会員)
		消耗品費支出	50,000	42,173	7,827	
		会費等入会手数料支出	10,000	2,220	7,780	
		選挙管理費支出	360,000	355,406	4,594	
委託費支出		60,000	59,840	160	HP使用料	
予備費	56,000	104,540	△ 48,540	図書カード、Zoom契約料、他		
(小計)		1,046,000	1,090,650	△ 44,650		
支出合計		2,656,000	2,088,189	△ 567,811		

▲予算額に対する収入減 △予算額に対する支出増

収入合計	2,380,000
支出合計	2,088,189
収入-支出	291,811
令和元年度繰越金	5,055,667
令和2年度繰越金	5,347,478

## 次年度繰越金保管方法

郵便口座	5,168,613
手元現金	178,865

令和3年7月19日  
東京体育学会

会長 船渡和男 理事長 田中重陽

監査の結果、令和2年度諸事業に関して、会計報告は適正であると認めます。

令和3年7月19日  
東京体育学会

監事 太田あや子 監事 野口智博



## 令和3年度事業計画案について

### 1. 東京体育学会第13回大会の開催

日時：令和4年3月13日（日）

開催場所：国士舘大学世田谷キャンパス

### 2. 研究会の開催（年2回）

令和3年度第1回研究会（第98回）2021年9月28日

令和3年度第2回研究会（第99回）2021年12月3日

### 3. 研究誌「東京体育学研究第13巻」の刊行

### 4. 会報「とうきょう」の発行

「とうきょう」（2021.No.1） 令和3年6月中旬発行 [Web上に掲載]

「とうきょう」（2021.No.2） 令和3年11月中旬発行 [Web上に掲載]

「とうきょう」（2022.No.3） 令和4年2月中旬発行 [Web上に掲載]

### 5. 諸会議の開催

総会（1回） 令和4年3月上旬

理事会（3回） 令和3年6月中旬、令和3年11月中旬、令和4年3月上旬

## 令和 3 年度予算案

## I 事業活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	前年度予算	差額
会費収入			2,100,000	2,250,000	▲150,000
入会金収入			10,000	10,000	0
事業収入			0	0	0
寄付金・補助金収入			396,000	396,000	0
収入合計			2,506,000	2,656,000	▲150,000

内訳/注記  
1,400名 × @1,500  
20名 × @500

## II 事業活動支出

大科目	中科目	小科目	予算額	前年度予算	差額
事業費支出	学会大会費支出	臨時雇賃金支出	100,000	100,000	0
		会議費支出	200,000	200,000	0
		旅費交通費支出	20,000	50,000	▲30,000
		通信運搬費支出	20,000	20,000	0
		消耗品費支出	10,000	10,000	0
		諸謝金支出	90,000	90,000	0
		学会賞金支出	60,000	60,000	0
		(小計)		500,000	530,000
	研究会費支出	臨時雇賃金支出	20,000	10,000	△10,000
		会議費支出	10,000	10,000	0
		旅費交通費支出	20,000	20,000	0
		通信運搬費支出	20,000	20,000	0
		消耗品費支出	10,000	10,000	0
		諸謝金支出	80,000	50,000	△30,000
	(小計)		160,000	120,000	△40,000
	学会誌刊行費支出	通信運搬費支出	150,000	150,000	0
		消耗品費支出	150,000	150,000	0
		印刷製本費支出	450,000	450,000	0
	(小計)		750,000	750,000	0
	記念事業積立金		0	0	0
学術連合会費		30,000	30,000	0	
研究助成費支出	研究助成費支出	400,000	0	△400,000	
(小計)		430,000	30,000	△400,000	
管理費支出	常設委員会費支出	会議費支出	80,000	100,000	▲20,000
		旅費交通費支出	50,000	70,000	▲20,000
		通信運搬費支出	10,000	10,000	0
	(小計)		140,000	180,000	▲40,000
	その他管理費支出	事務アルバイト代支出	360,000	360,000	0
		幹事手当支出	120,000	120,000	0
		旅費交通費支出	20,000	20,000	0
		通信運搬費支出	10,000	10,000	0
		消耗品費支出	50,000	50,000	0
		会費等入会手数料支出	10,000	10,000	0
		選挙管理費支出	0	360,000	▲360,000
		委託費支出	60,000	60,000	0
		予備費	100,000	56,000	△44,000
	(小計)		730,000	1,046,000	▲316,000
支出合計		2,710,000	2,656,000	△54,000	

研究会年2回

研究助成

△前年度に対する予算増、▲前年度に対する予算減

収入合計	2,506,000
支出合計	2,710,000
収入合計－支出合計	-204,000
令和2年度繰越金(予定)	6,000,000

令和 3・4 年度 理事構成

(2021年4月1日～2023年3月31日)

◎会長 船渡 和男 (日本体育大学)

◎理事長 田中 重陽 (国士舘大学)

◎常任理事

庶務・会計 ○袴田 智子 (国立スポーツ科学センター)

広報 ○工藤 和俊 (東京大学), 稲葉 優希 (国立スポーツ科学センター)

研究 ○沢井 史穂 (日本女子体育大学), 秋葉 茂季 (国士舘大学), 及川 佑介 (東京女子体育大学)

編集 ○村岡 哲郎 (日本大学), 佐々木 玲子 (慶應義塾大学), 柏木 悠 (専修大学), 近藤 智靖 (日本体育大学), \*平野 智也 (国士舘大学)

監事 ○太田 あや子 (武蔵丘短期大学), 水村 真由美 (お茶の水女子大学)

(○責任者, \*幹事 会長推薦)

理事

阿江 美恵子 (東京女子体育大学), 秋葉 茂季 (国士舘大学), 石井 直方 (東京大学), 稲葉 優希 (国立スポーツ科学センター), 及川 佑介 (東京女子体育大学), 太田 あや子 (武蔵丘短期大学), 岡出 美則 (日本体育大学), 柏木 悠 (専修大学), 川原 貴 (大学スポーツ協会), 神田 俊平 (十文字学園女子大学), 菊 幸一 (筑波大学), 工藤 和俊 (東京大学), 熊川 大介 (国士舘大学), 小谷 究 (流通経済大学), 近藤 智靖 (日本体育大学), 佐々木 玲子 (慶應義塾大学), 沢井 史穂 (日本女子体育大学), 田中 重陽 (国士舘大学), 角田 直也 (国士舘大学), 友添 秀則 (日本学校体育研究連合会), 袴田 智子 (国立スポーツ科学センター), 深代 千之 (日本女子体育大学), 船渡 和男 (国士舘大学), 細越 淳二 (国士舘大学), 水村 真由美 (お茶の水女子大学), 宮地 元彦 (医薬基盤・健康・栄養研究所), 村岡 哲郎 (日本大学), 吉岡 伸輔 (東京大学)

幹事 WEB管理 平野 智也 (国士舘大学), 赤澤 祐美 (国士舘大学)

事務局 藤戸 靖則

新入会員

(令和3年3月5日～令和3年7月28日現在)

(計10名)

---

会報「とうきょう」2021年度 第1号

---

発行日：2021年11月5日 編集：広報委員会

発行人：東京体育学会 会長 船渡和男

〒206-8515 東京都多摩市永山7-3-1

国士舘大学大学院スポーツ・システム研究科 助手室 東京体育学会事務局

e-mail:tokyotai@kokushikan.ac.jp